

2014年7月3日

長野マラソン組織委員会 共同調査

第16回長野オリンピック記念
長野マラソン
出場者アンケート
報告書

(2014年4月20日～5月12日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

第16回長野オリンピック記念長野マラソンは4月20日、今回から新コースとなった長野運動公園～長野オリンピックスタジアムの42.195キロで開催した。過去最多の9535人が出場し、8295人（男子7064人、女子1231人）が完走。男子はレビッド選手（ウクライナ）が優勝、女子はプロコペワ選手（ロシア）が優勝した。

長野マラソン大会組織委員会と長野県世論調査協会は、これからの大会運営と長野市のまちづくりのあり方を探るため、恒例の参加ランナーを対象とするアンケートを共同で実施した。

◆調査の設計

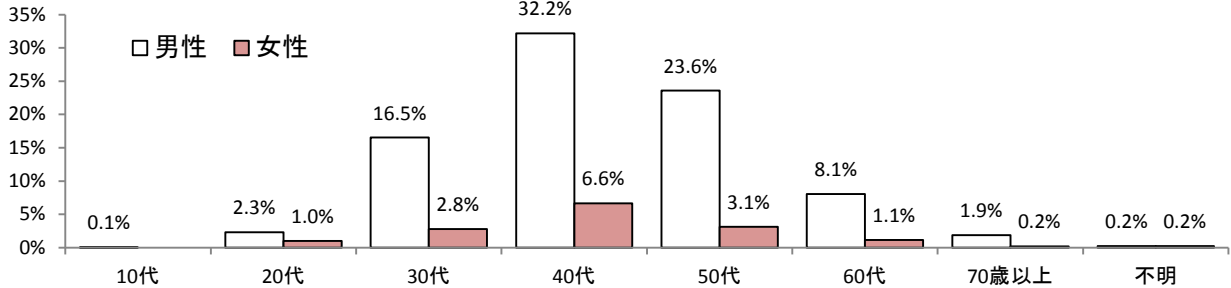
▽調査対象	国内一般の部出場者（実業団選手は除く）	9188人
▽調査方法	前日の受付の際に配布 回収はインターネット、郵送、ファクス	
▽調査期間	2014年4月20日～5月12日	
▽回収結果	有効回収数	1748人（回収率19.0%）
▽調査主体	長野オリンピック記念長野マラソン大会組織委員会 一般社団法人長野県世論調査協会	

<注>報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

◆サンプルの内訳

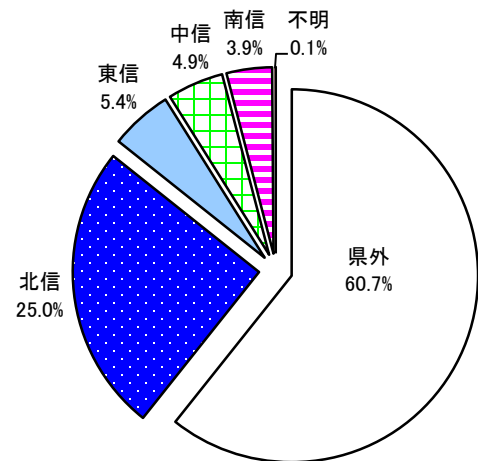
【性別と年代】

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
全体	1748	1	58	338	679	467	161	36	8
	100.0%	0.1%	3.3%	19.3%	38.8%	26.7%	9.2%	2.1%	0.5%
男性	1483	1	40	289	563	412	141	33	4
	84.8%	0.1%	2.3%	16.5%	32.2%	23.6%	8.1%	1.9%	0.2%
女性	265	-	18	49	116	55	20	3	4
	15.2%	-	1.0%	2.8%	6.6%	3.1%	1.1%	0.2%	0.2%



【住所】

県外	1061	60.7%
長野県内	687	39.3%
北信	437	25.0%
東信	94	5.4%
中信	85	4.9%
南信	69	3.9%
不明	2	0.1%



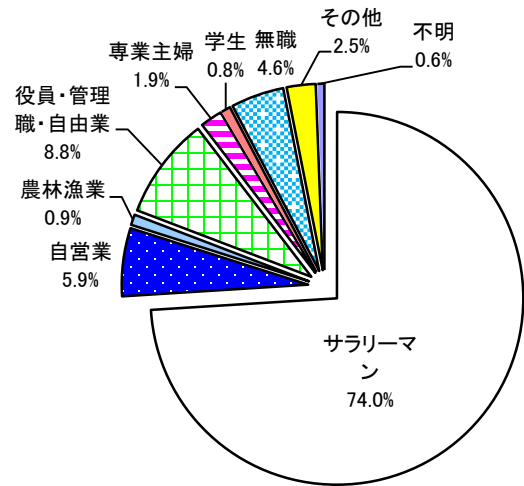
【都道府県】

北海道	1	0.1%
青森	5	0.5%
岩手	3	0.3%
宮城	5	0.5%
秋田	4	0.4%
山形	2	0.2%
福島	9	0.8%
茨城	8	0.8%
栃木	12	1.1%
群馬	14	1.3%
埼玉	92	8.7%
千葉	61	5.7%
東京	263	24.8%
神奈川	137	12.9%
新潟	60	5.7%
富山	21	2.0%
石川	10	0.9%
福井	5	0.5%
山梨	9	0.8%
岐阜	32	3.0%
静岡	28	2.6%
愛知	140	13.2%
三重	23	2.2%
滋賀	9	0.8%

京都	10	0.9%
大阪	41	3.9%
兵庫	20	1.9%
奈良	7	0.7%
和歌山	2	0.2%
鳥取	2	0.2%
島根	-	-
岡山	3	0.3%
広島	2	0.2%
山口	2	0.2%
徳島	1	0.1%
香川	3	0.3%
愛媛	-	-
高知	1	0.1%
福岡	5	0.5%
佐賀	1	0.1%
長崎	-	-
熊本	-	-
大分	-	-
宮崎	1	0.1%
鹿児島	1	0.1%
沖縄	1	0.1%
不明	5	0.5%

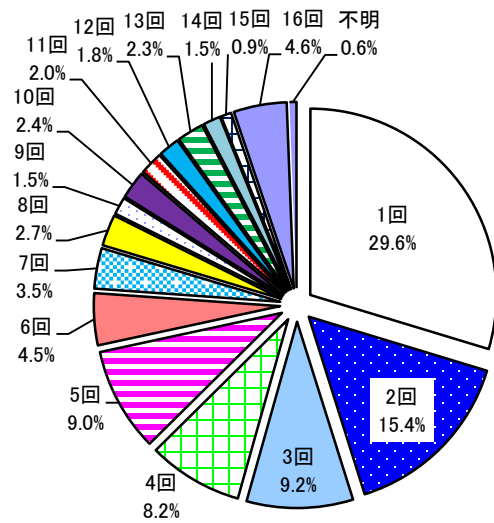
【職業】

サラリーマン	1293	74.0%
自営業	104	5.9%
農林漁業	16	0.9%
役員・管理職・自由業	154	8.8%
専業主婦	33	1.9%
学生	14	0.8%
無職	80	4.6%
その他	44	2.5%
不明	10	0.6%



【申し込み回数(今大会を含む)】

1回	517	29.6%
2回	270	15.4%
3回	160	9.2%
4回	144	8.2%
5回	158	9.0%
6回	79	4.5%
7回	62	3.5%
8回	48	2.7%
9回	27	1.5%
10回	42	2.4%
11回	35	2.0%
12回	31	1.8%
13回	41	2.3%
14回	27	1.5%
15回	16	0.9%
16回	80	4.6%
不明	11	0.6%

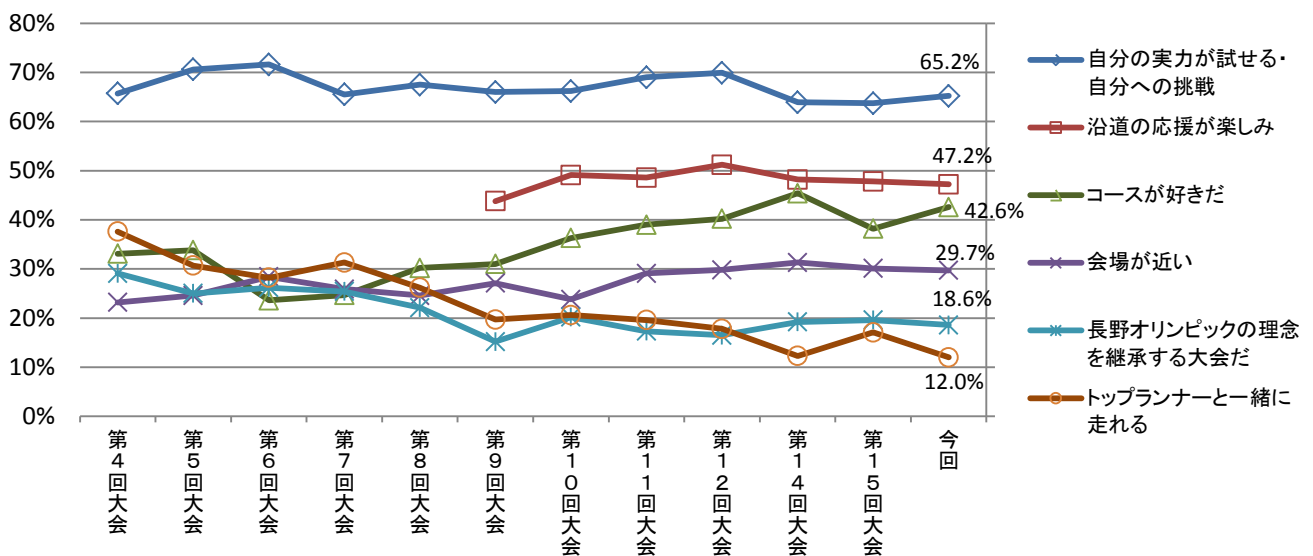


II 結果の概要

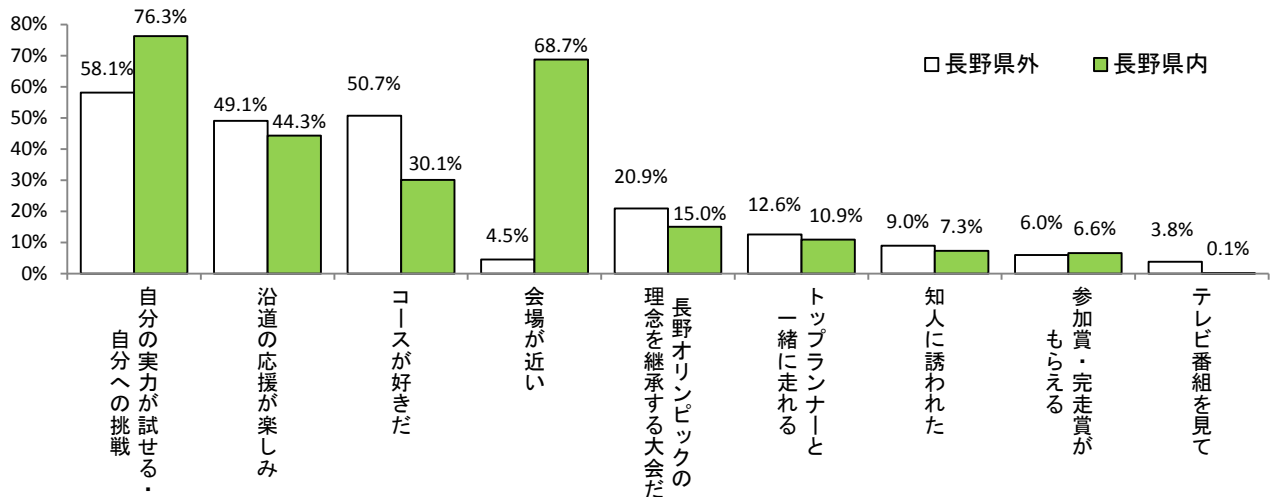
参加の動機 「自分の実力が試せる」65%

長野マラソンに参加した動機で最も高かったのは「自分の実力が試せる・自分への挑戦」の65%。2番手は「沿道の応援が楽しみ」の47%、3番手は「コースが好きだ」の43%で、全ての選択肢が前回と同じ順番。「コースが好きだ」が4ポイント増加、「トップランナーと一緒に走れる」が5ポイント減少しているのが目立つ。

県外勢で「沿道の応援が楽しみ」「コースが好きだ」「長野オリンピックの理念を継承する大会だ」が、県内勢で「自分の実力が試せる・自分への挑戦」「会場が近い」が高い。



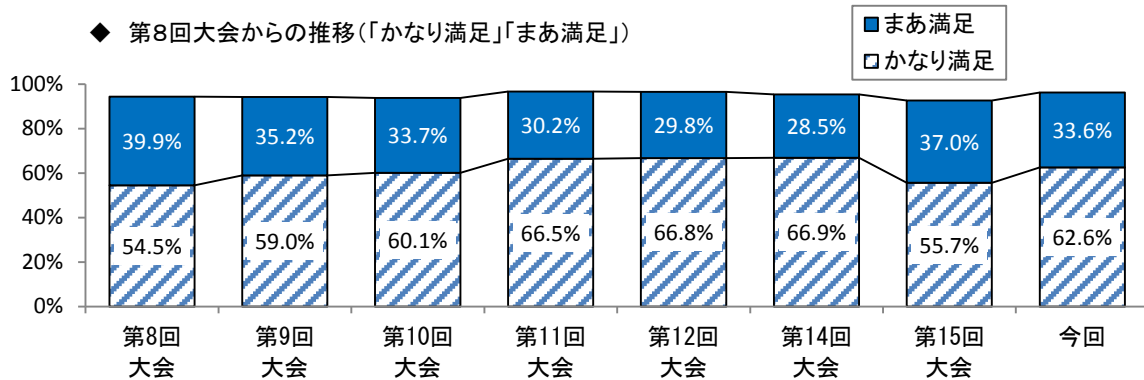
◆県外・県内別では



参加の感想 「かなり満足」6割台に復帰

「かなり満足」が63%で前回より7ポイント増。「まあ満足」の34%と合わせて96%が満足と回答しており、昨年は大雪の影響でややダウンしたが、第11回～第14回の水準に戻った。

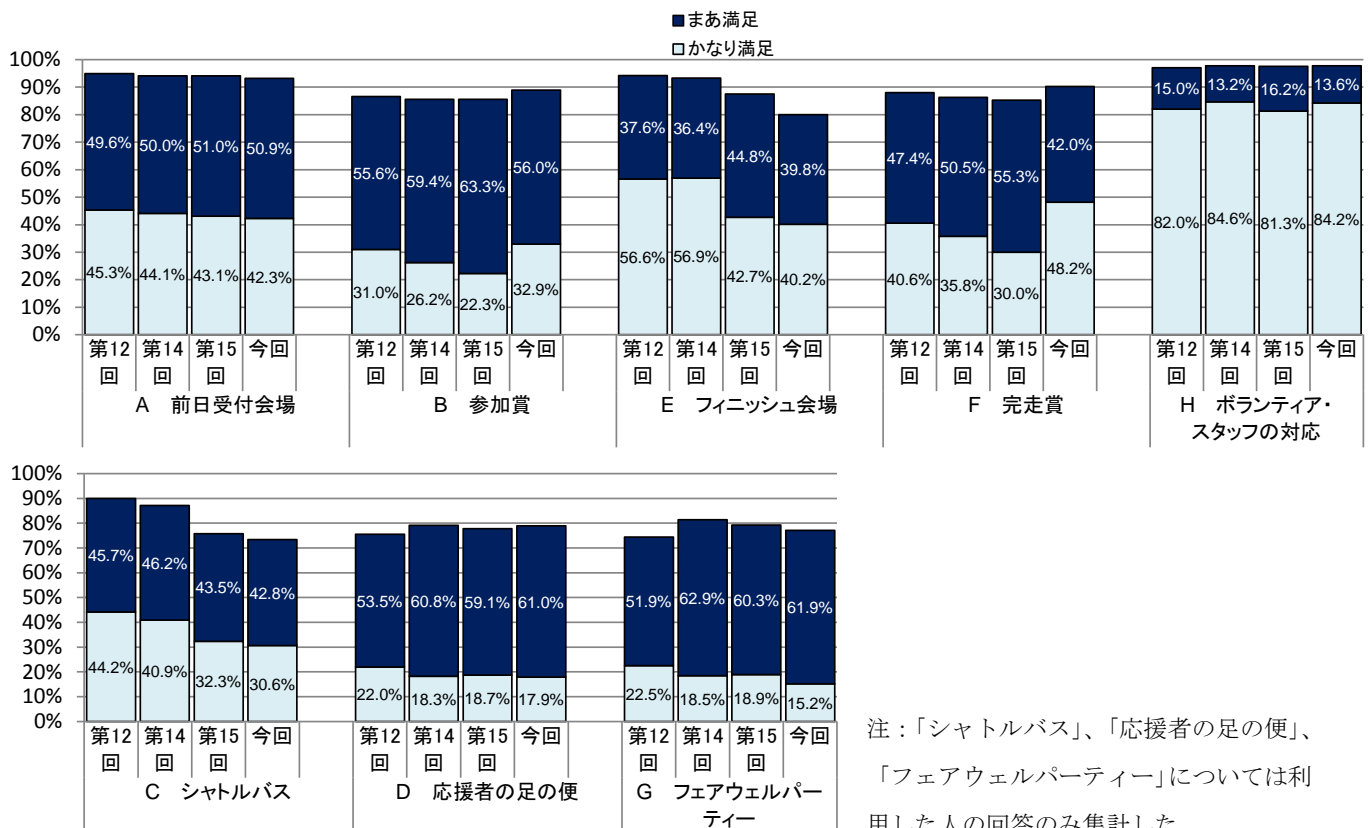
若年層で満足度が高く、20代で「かなり満足」が76%、30代で68%と高いが、60代以上では約半数にとどまる。



満足度 大会運営・催し物

8項目の中で最も満足度が高かったのは「ボランティア・スタッフの対応」で、「かなり満足」と「ある程度満足」を合わせて98%と過去3回と同水準の高さ。

「完走賞」で「かなり満足」が前回から18ポイント増の48%、「参加賞」で11ポイント増の33%で、減少が続いていた賞品の満足度が増加に転じた。

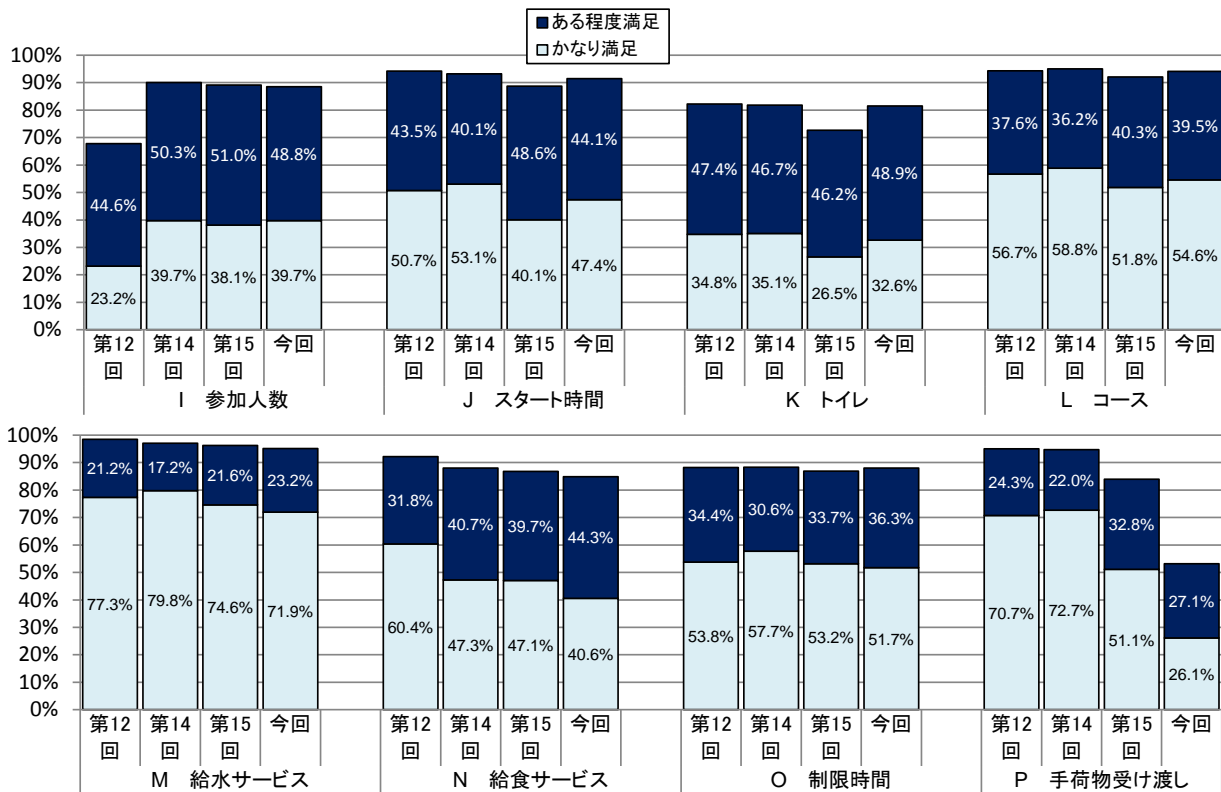


注：「シャトルバス」、「応援者の足の便」、「フェアウェルパーティー」については利用した人の回答のみ集計した。

満足度 レース運営・サービス

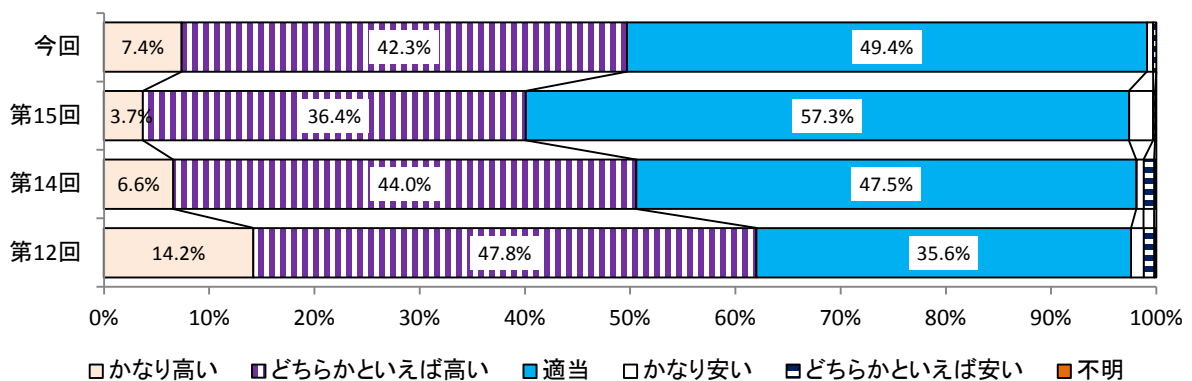
「手荷物受け渡し」で「かなり満足」が26%、前回から25ポイントの大幅ダウン。「ある程度満足」の合計で唯一6割を切った。60代以上の高齢層や南信からの参加者は「不満」が全体で半数を超える自由回答でも改善を求める声が多かった。

前回からの変動では「スタート時間」で7ポイント、「トイレ」で6ポイント「かなり満足」が増加、「給水サービス」で3ポイント、「給食サービス」で6ポイント「かなり満足」が減少しているのが目立つ。



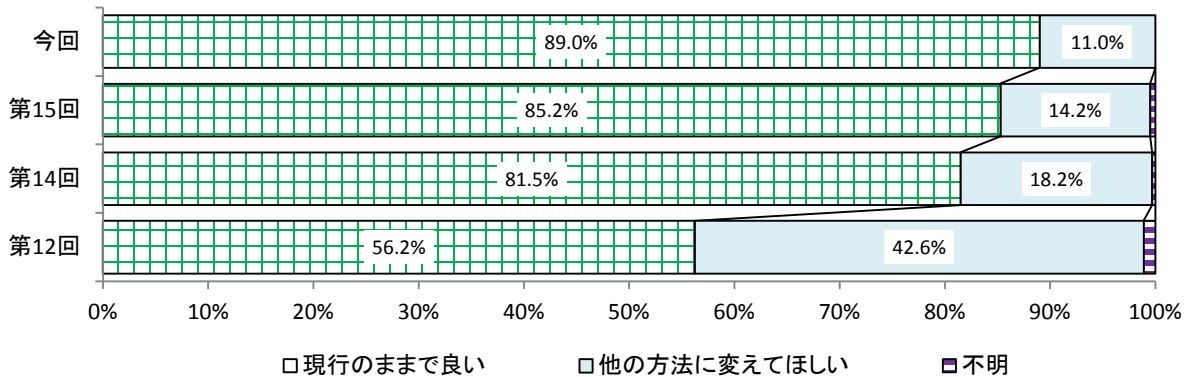
評価 参加料

「高い」が全体で第15回大会から10ポイントアップの50%、「適当」が8ポイントダウンの49%でほぼ半々で並ぶ。「安い」は全体で1%と少ない。女性、20代、県内勢といった属性で割高感が強め。



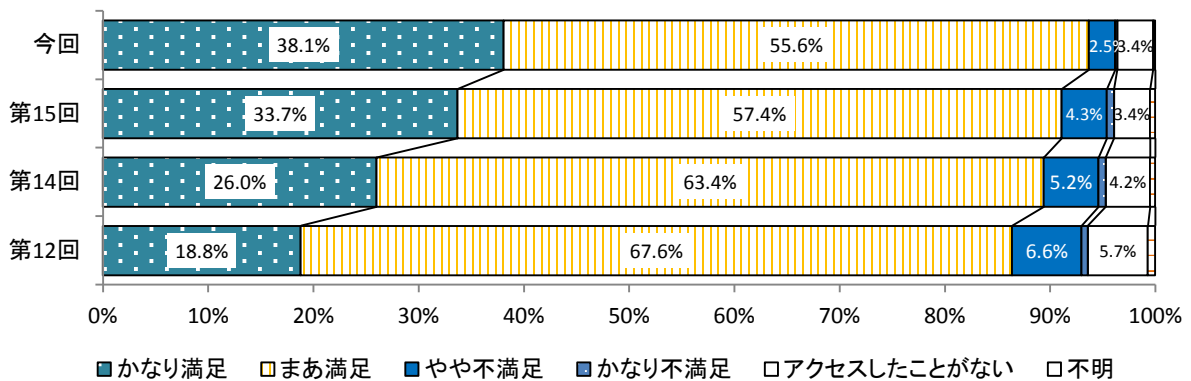
評価 エントリー

「現行のままで良い」が前回から4ポイント増の89%。60代以上の高齢層で「他の方法に変えて欲しい」が2割を超える。



評価 公式ホームページ

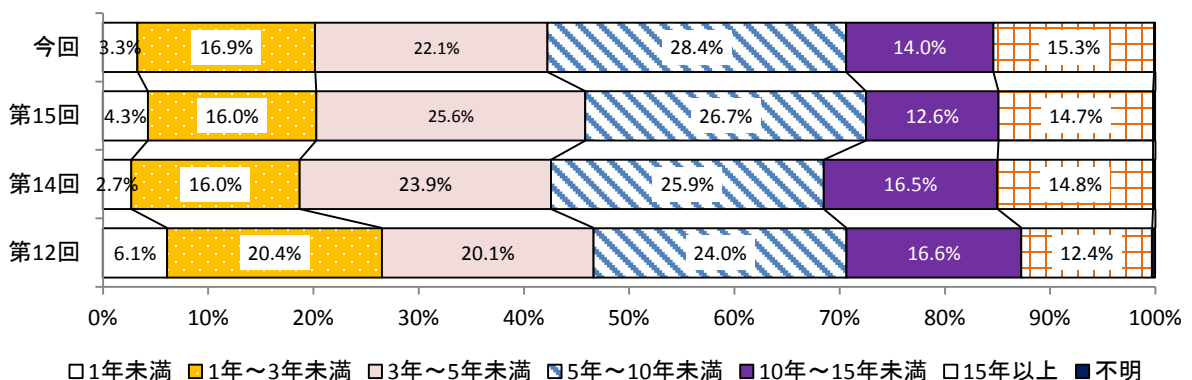
「かなり満足」が前回から4ポイント増の38%。「満足」全体で94%にのぼり、ほとんどの回答者が満足している。「アクセスしたことはない」は60代以上の高齢層と大会申し込み回数16回で高めでも10%台、前回よりはやや少ない。



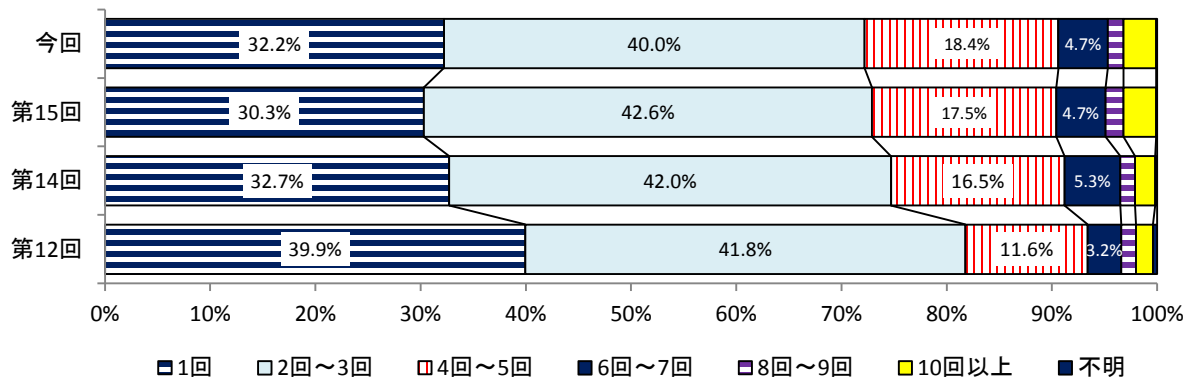
マラソン歴

期間とフルマラソンの経験 「5年～10年未満」28%

マラソンを始めてからの期間で最も多かったのは「5年～10年未満」の28%で、過去4回の調査と比べて大きな変動はみられない。60代で43%、70歳以上で47%が「15年以上」と回答しているのも前回同様だ。



1年間のフルマラソン出場回数は「2回～3回」が40%で最も多く、次いで「1回」が32%、「4回～5回」が18%。4回以上出場している割合が28%と、回を追って増えている。



効果

マラソンを始めてどのような効果があるか複数回答（3つ以内）で尋ねた。最も多かったのは「健康に役立っている」の65%で、2番手は「気持ちに張り合いがある」の57%、3番手は「記録に挑戦する楽しみができた」の50%。以下「走ること自体の楽しみが増した」（45%）、「同好の仲間ができた」（36%）、「減量に役立っている」（24%）と前回調査と順位変動はない。

60代以上の高齢層で「健康に役立っている」が8割、「気持ちに張り合いがある」が6割と高く、「記録に挑戦する楽しみができた」は30代が6割を越し高め。

